

専門分野：地域・在宅看護論

<概要>

地域・在宅看護概論Ⅰでは、超高齢社会と地域包括ケアシステム、人々の暮らしと地域看護・在宅看護、生活の成り立ちと健康との関連について理解します。地域・在宅看護概論Ⅱでは、在宅看護に必要な姿勢や考え方、家族への理解と支援、療養の場の選択や移行支援、さらに在宅看護におけるリスクマネジメントについて学びを広げます。

地域・在宅看護各論Ⅰでは、公的医療保険制度や診療報酬制度、介護保険制度、訪問看護制度のしくみをはじめ、訪問看護サービスを提供する施設・利用者の現状、訪問看護ステーションの運営・管理、居宅等での医行為の特徴と課題、地域包括ケアシステムや地域包括支援センターの役割、在宅医療や保健・医療・福祉の専門職について体系的に理解します。地域・在宅看護各論Ⅱでは、生活の場で行う生活援助や医療処置技術に加え、地域・在宅におけるエンドオブライフケアと看取りへの実践的理解を深めます。地域・在宅看護各論Ⅲでは、要支援・要介護高齢者、慢性疾患をもつ療養者、認知症患者など、多様な対象への在宅看護の実際を学びます。地域・在宅看護各論Ⅳでは、暮らしの場における看護過程の展開や事例を通じた実践、地域・在宅看護に欠かせない基本的マナーと感染管理について理解を深めます。

<単位> 6単位 135時間

<目的>

地域で暮らす人々や家族の生活を理解し、その人らしい暮らしを支える看護を総合的に学ぶ。

<目標>

1. 地域で暮らす人や家族の生活と健康を理解し、生活を支える看護の大切さを学ぶ。
2. 地域包括ケアや在宅看護の役割、多職種連携や制度の仕組みを理解する。
3. 健康状態や療養の時期に応じて、個人と家族の生活を支える看護の方法を理解する。
4. 在宅での生活支援や終末期ケアの基本的な看護技術を理解する。
5. 安全で質の高い看護のため、看護過程やマナー・感染管理の基本を学ぶ。

<地域・在宅看護論の科目構成と単位時間数等>

科目	単位	時間	年次	時期	学習内容
地域・在宅看護概論Ⅰ	1	15	1	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会と地域包括ケアシステム ・人々の暮らしと地域看護・在宅看護 ・人々の暮らしの成り立ちと健康
地域・在宅看護概論Ⅱ	1	30	2	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護の姿勢・考え方 ・地域・在宅看護における家族の理解と支援 ・療養の場と移行支援 ・在宅看護におけるリスクマネジメント
地域・在宅看護論Ⅰ	1	30	2	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険制度と診療報酬制度 ・介護保険制度 ・訪問看護制度のしくみ ・訪問看護サービスを提供する施設や利用者の現状 ・訪問看護ステーションの運営と管理 ・居宅等における医行為の特徴と課題 ・地域包括ケアシステムと地域包括支援センター ・在宅医療 ・保健・医療・福祉の専門職
地域・在宅看護論Ⅱ	1	30	2	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの場で実践する生活援助・医療処置技術 ・地域・在宅でのエンドオブライフケアと看取り
地域・在宅看護論Ⅲ	1	15	2	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援高齢者への在宅看護 ・要介護高齢者への在宅看護 ・慢性疾患を有する療養者への在宅看護 ・認知症患者への在宅看護
地域・在宅看護論Ⅳ	1	15	2	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの場における看護過程の展開 ・事例でみる暮らしの場における看護の実際 ・地域・在宅看護における基本的マナーと感染管理
合計	6単位				135時間

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数
地域・在宅看護概論Ⅰ	専任教員	1年次後期	1単位/15時間
科目目標			
1. 超高齢社会と地域包括システムの関係を理解する。 2. 暮らしとは何かを理解する。 3. 暮らしが社会からどのような影響を受けているかを理解する。 4. 暮らしが心身の健康にどのように影響を及ぼすかを理解する。 5. 地域の環境が暮らしに与える影響を理解する。 6. 地域包括ケアシステムの暮らしへの影響を理解する。			
教科書			
1) 石垣和子他, 看護学テキストNice 地域・在宅看護論Ⅰ総論, 南江堂. 2) 石垣和子他, 看護学テキストNice 地域・在宅看護論Ⅱ支援論, 南江堂. 3) 茂野香おる他 系統看護学講座看護学概論、医学書院. 4) 黒江ゆり子他 新体系看護学全書成人看護学概論/成人保健, メヂカルフレンド社.			
評価方法			
筆記試験・課題・演習・レポート 100%			
授業計画			
回数	単元	授業内容等	授業方法
第1回 ～ 第3回	超高齢社会と地域 包括システム	1. 日本の超高齢社会の特徴 2. 高齢者を地域で支える地域包括ケアシステム 3. 高齢者のニーズに寄り添う地域包括ケアシステム	講義
	人々の暮らしと地 域看護・在宅看護	1. 暮らしとは 2. 地域看護・在宅看護とは 3. 地域看護の対象（健康レベル） 4. 地域社会と暮らし 5. 地域社会の中での自助・互助・共助・公助 6. 在宅という場 7. 地域包括システムの中の在宅看護 8. 診療所および病院の外来における看護サービス 9. 地域・在宅看護に求められる役割（在宅看護を担う 看護師の基本姿勢）	
第4回 ～ 第7回	人々の暮らしの 成り立ちと健康	1. 人々の暮らしをとりまく社会 2. 個人の暮らしと健康 3. 地域の環境が暮らしに与える影響 4. 地域包括ケアシステムと暮らし	講義 グループ ワーク
第8回	試験		

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
地域・在宅看護概論Ⅱ	専任教員・看護師	2年次前期	1単位／30時間	
科目目標				
1. 在宅看護を行うにあたって必要となる姿勢や考え方を理解する。 2. 家族の概念や特性と機能、家族への支援を理解する。 3. 療養の場における移行支援の重要性とさまざまな移行パターンにおける支援方法を理解する。 4. 入退院支援のプロセスと、各段階で行われる支援の方法を理解する。 5. 在宅看護における主なリスクの特徴やそれを防ぐためのリスクマネジメントの方法を理解する。				
教科書				
1) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅰ総論, 南江堂. 2) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅱ支援論, 南江堂.				
評価方法				
筆記試験・課題・演習・レポート 100%				
授業計画				
回数	単元	授業内容等	授業方法	授業担当
第1回 ～ 第4回	在宅看護の姿勢・ 考え方	1. 在宅という場の特徴 2. 対象者との支援関係の構築 3. 病状・病態変化の予測と予防 4. 自立支援（セルフケア） 5. 活動・参加の促進 6. 人々の尊厳と権利の擁護 7. 意思決定の支援 8. 多職種連携・協働	講義	専任教員
第5回 ～ 第7回	地域・在宅看護に おける家族の理解 と支援	1. 家族の概念・規範 家族の概念の移り変わり 家族規範 現代のさまざまな家族像 2. 家族を理解する 家族の特性 健康な家族とは 家族の機能 介護が家族にもたらす影響 3. 家族への支援 家族を支援する看護職の役割 家族アセスメント 家族援助方法	講義 グループ ワーク	看護師
第8回 ～ 第11回	療養の場の移行支 援	1. 療養の場の移行とその支援 療養の場所の変化 継続看護とは 切れ目のない医療・療養の提供 療養の場の主な移行パターン 移行パターン別の支援 療養の場の移行における意思決定支援 2. 入退院支援 入退院支援の必要性 入退院支援の流れ	講義	専任教員
第12回 ～ 第14回	在宅看護における リスクマネジメン ト	1. 在宅療養者や家族にとってのリスク 2. 在宅看護時に起こりえるリスク	講義	専任教員
第15回	試験			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
地域・在宅看護論Ⅰ	社会福祉士・看護師	2年次前期	1単位／30時間	
科目目標				
1. 日本の保健医療制度の現状を理解する。 2. 訪問看護のしくみとサービスを提供する施設や訪問看護サービス利用者の状況を理解する。 3. 訪問看護ステーションの運営・管理に必要な知識、業務の流れを理解する。 4. 医行為に考え方および居宅等における医行為の現状を理解する。 5. 地域包括支援ケアシステムの背景とその運用を理解する。 6. 在宅医療の概要と保健・医療・福祉の専門職とその役割を理解する。				
教科書				
1) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅰ総論, 南江堂. 2) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅱ支援論, 南江堂.				
評価方法				
筆記試験・課題・演習・レポート		100%		
授業計画				
回数	単元	授業内容等	授業方法	授業担当
第1回 ～ 第5回	公的医療保険制度 と診療報酬制度	1. 公的医療保険制度の概要	講義 グループ ワーク	看護師
	介護保険制度	1. 介護保険制度の目的 2. 介護保険制度のしくみ 3. 介護保険制度のあゆみ 4. 要介護状態等区分 5. 介護保険の対象となる疾病 6. 介護保険制度の課題 7. 介護保険サービス		
第6回 ～ 第10回	訪問看護制度のしくみ	1. 訪問看護制度とは 2. 医療保険制度による訪問看護 3. 他のサービスを提供する機関 4. 訪問看護サービスを提供する機関 5. 訪問看護を提供する場 6. 診療報酬、介護報酬	講義	専任教員
	訪問看護サービスを提供する施設や利用者の状況	1. 訪問看護を提供する施設や利用者の状況 2. その他の帰還・施設からの訪問看護の状況		
	訪問看護ステーションの運営と管理	1. 訪問看護ステーションの運営 2. 訪問看護ステーションの管理 3. 訪問看護ステーションの業務の流れ		
	居宅等における医行為の特徴と課題	1. 医行為とは 2. 居宅等における医行為の特徴と課題 3. 居宅等における安全で確実な医行為の実施に向けて		

<p>第 11 回 ～ 第 14 回</p>	<p>地域包括ケアシステムと地域包括支援センター</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括ケアシステム 地域包括ケアシステムの背景 医療介護総合確保推進法 地域包括ケアシステムの構築と地域ケア会議 2. 地域包括支援センター 設置目的、設置体制 職員体制と設置基準、設置状況 業務 	<p>講義</p>	<p>社会福祉士</p>
	<p>在宅医療</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅医療の提供体制 在宅医療に関連するサービス 地域連携クリニカルパス 在宅医療の体制構築 在宅医療・在宅介護の連携推進 		
	<p>保健・医療・福祉の専門職</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅ケアに携わる保健・医療・福祉の専門職とその業務 2. 在宅ケアに携わる保健・医療・福祉の専門職が働く機関 		
<p>第 15 回</p>	<p>試験</p>			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
地域・在宅看護論Ⅱ	専任教員・看護師	2年次後期	1単位/30時間	
科目目標				
1. 地域・在宅で生活する療養者への生活援助や医療処置の技術を理解する。 2. 地域・在宅でのエンドオブライフケアと看取りを理解する。				
教科書				
1) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅰ総論, 南江堂。 2) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅱ支援論, 南江堂。				
評価方法				
筆記試験・課題・演習・レポート		100%		
授業計画				
回数	単元	授業内容等	授業方法	授業担当
第1回 ～ 第6回	暮らしの場で実践する生活援助・医療処置技術	1. 食の支援と栄養に管理 ※経管栄養法 2. 排泄の支援・管理 3. 清潔・整容の支援 4. 移動・活動と休息の支援 (福祉用具情報プラザ見学を含む) 5. 受診・服薬の支援	講義 ※校内実習	専任教員
第7回 ～ 第9回		6. 呼吸の管理 在宅酸素療法(HOT) 在宅人工呼吸器療法 7. 循環の管理 心不全 脳血管障害 慢性腎臓病(CKD) 8. 皮膚・創傷の管理 褥瘡の予防方法と発生後のケア スキンケアのケア	講義	看護師
第10回 ～ 第14回	地域・在宅でのエンドオブライフケアと看取り	1. 全人的苦痛 死の受容過程とアセスメント援助 2. 緩和ケア 患者ニーズのアセスメント/症状マネジメント/全人的ケアと予期的悲嘆に対するケア/家族ケア/緩和ケア/チームアプローチ 3. ターミナル期の看護 全人的苦痛のアセスメントと苦痛軽減への援助/症状マネジメント(呼吸困難、下肢浮腫、排便異常、食欲不振、睡眠障害)/家族ケア 4. エンゼルケア 5. 最期を在宅で迎える療養者 疼痛管理、麻薬の管理、グリーフケア	講義	看護師
第15回		試験		

科目名	科目担当者	開講時期	単位数／時間数	
地域・在宅看護論Ⅲ	専任教員・看護師	2年次後期	1単位／15時間	
科目目標				
1. 地域・在宅で生活する療養者を取りまく社会資源や在宅医療・介護の状況を理解する。 2. 事例を通して、さまざまな障害や疾病を有し地域・在宅で生活する療養者への看護の実際を理解する。。				
教科書				
1) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅰ総論, 南江堂. 2) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論Ⅱ支援論, 南江堂.				
評価方法				
筆記試験・課題・レポート 100%				
授業計画				
回数	単元	授業内容等	授業方法	授業担当
第1回 ～ 第5回	要支援高齢者への在宅看護	1. 要支援高齢者を取りまく現状 2. 療養者の理解 3. 療養者の家族の理解 4. 倫理的課題 5. 要支援高齢者への看護 6. 多職種連携・協働のポイント	講義	専任教員
	要介護高齢者への在宅看護	1. 要介護高齢者を取りまく現状 2. 療養者の理解 3. 療養者の家族の理解 4. 倫理的課題 5. 安全管理 6. 要介護高齢者への看護 要介護高齢者のアセスメント 7. 多職種連携・協働のポイント	講義	専任教員
	慢性疾患を有する療養者への在宅看護	1.慢性疾患を有する療養者を取りまく状況 2.療養者の理解 3.療養者の家族の理解 4.倫理的課題 5.安全管理 6.慢性疾患を有する療養者への看護 7.多職種連携・協働のポイント	講義	専任教員
第6回 ～ 第7回	認知症患者への在宅看護	1. 認知機能低下に対する支援 認知症とは 認知症の症状に応じた支援 認知症高齢者・家族への支援 服薬支援 サポーター、認知症カフェ 認知症初期集中支援チーム	講義	看護師
第8回	試験			

科目名	科目担当者	開講時期	単位数/時間数	
地域・在宅看護論IV	専任教員	2年次後期	1単位/15時間	
科目目標				
1. 地域・在宅で生活する療養者と家族の生活を支えるために必要な看護の展開方法を理解する。 2. 事例を通し模擬訪問看護の場面で看護を実践する。 3. 地域・在宅看護における基本的なマナーと感染管理を修得する。				
教科書				
1) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論 I 総論, 南江堂. 2) 石垣和子他, 看護学テキスト Nice 地域・在宅看護論 II 支援論, 南江堂. 3) 篠崎恵美子他, 事例から学ぶ地域・在宅看護論, 医学書院.				
評価方法				
課題・演習 100%				
授業計画				
回数	単元	授業内容等	授業方法	授業担当
第1回 ～ 第3回	暮らしの場における看護過程の展開	1. 在宅看護におけるアセスメント 2. 暮らしの場における看護過程の考え方 3. 暮らしの場における看護過程の一例	講義	看護師
第4回 ～ 第7回	事例でみる暮らしの場における看護の実際	1. 初回面接・訪問・情報収集 2. アセスメント 3. 看護課題の明確化と計画立案 4. 実施の経過と半年後の評価 5. 看護課題の見直しと看護計画の修正	講義 演習	専任教員
	地域・在宅看護における基本的マナーと感染管理	1. 訪問前のマナー 2. 玄関でのマナー 3. 療養者の部屋でのマナー 4. 退出時のマナー 5. 感染防止対策	講義 演習	専任教員
第8回	まとめ	発表		